

令和7年度

# 学校評価(Ⅱ)

～分掌及び学年について～

<学校評議員会・学校関係者評価会議資料>



大曲農業高等学校太田分校

令和8年2月10日

# 学校評価(Ⅱ)

～分掌及び学年について～

分 掌 ..... P 1 ～ P 7

総務部  
教務部  
生徒指導部  
進路指導部  
特別活動部  
保健部  
農場部

学 年 ..... P 8 ～ P 1 0

1 年部  
2 年部  
3 年部

# 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

## ◎令和7年度 重点目標

### 生徒一人一人が自ら深く考え、行動・実践できる力の育成

1. 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
2. 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」を図れるよう支援する。
3. 生徒一人一人が「進路希望を100%実現」できるよう支援する。
4. 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
5. 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

総務部

## 今年度の重点目標

- (1) 式典等の企画と運営を円滑に行う。
- (2) 学校行事を各分掌と連携し学校の活性化を図る。
- (3) 発行物の内容の充実と太田分校の広報活動の充実を図る。
- (4) P T A活動および同窓会活動の充実を図る。

## 今年度の主な実施事項

- (1) 式典（入学式・卒業式・新任式・離任式・始業式・終業式・修了式・賞状伝達式）
- (2) 行事・分掌連携（年間・月間行事予定・職員会議）
- (3) 広報（学校要覧・学校案内・分校だより・P T A会報・ホームページ・写真掲示）
- (4) P T A（総会・高P連関係・同窓会）
- (5) その他（各種会計・教育振興会・大仙市地域づくり事業・避難訓練・ものづくり講座・新入生説明会・育英会・学校安全計画・教職員必携）

## 今年度の成果と反省点

### 【成果】

- 多様な業務内容であるが、部員の協力のおかげで概ね予定通りに実施できている。
- 高P連の会議にP T A役員が積極的に参加してくれた。  
(県南地区P T A交流大会・高P連全県正副会長会議)
- 式典等は問題なく実施できて当然の業務であるが、これまで大きな不都合なく進めてきた。また一部式典を図書室で実施し、生徒の健康面に配慮することができた。

### 【反省点】

- ホームページの更新が適切に出来ていない。月末には必ず状況を確認するなど、体系的な対応を検討したい。また現在は特定の先生のみが更新できる状況である。
- 学校の活性化に向けて、他の分掌と連携を図るまでには至っていない。また個々の業務に関して評価するためのアンケート等を実施すべきだった。

## 次年度への取り組み（改善点）

- 同窓会との連携を強化し、周年行事について早めに計画・立案していきたい。
- ホームページの運営について少なくとも複数の職員が更新のための作業ができるなど、緊急な場面にも対応できるようにする。
- 生徒数が減少していることより、今後様々な工夫・改善・見直しが必要になると思われる。内規の見直しを含めて、その連絡・調整の役割を果したい。

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

教務部

### 今年度の重点目標

1. ユニバーサルデザインの考え方を教職員で共有し、生徒一人一人の学習意欲の向上を目指す。
2. 生徒同士や生徒と教員が対話する時間を増やし、理解が深まるよう授業改善をする。
3. タブレットや電子黒板を利用した学習の促進を目指す。

### 今年度の主な実施事項

- ・業務の分業化及び分掌内の情報共有の徹底。
- ・定期考査年間スケジュール提示。
- ・放課後学習会、長期休業中補習の実施形態の改善。
- ・体験入学の実施形態の改善。
- ・中学校生徒及び保護者及び教員対象の学校見学及び授業参観の随時実施。
- ・校務支援システムの運用の適正化。
- ・「言語活動を通じた『主体的・対話的で深い学び』の実現」のための授業改善。
- ・内規及び教育課程の振り返りと改善の検討。

### 今年度の成果と反省点

#### 【成果】

- ・学校見学及び授業参観、体験入学参加者の増加。分校に興味を持ってもらうことができた。
- ・ICTが活用され、協働学習が促進されたり、言語活動を重視した実践が行われた。
- ・前年踏襲体制を改善することができた。

#### 【反省点】

- ・丁寧に授業が進められ、授業者と生徒間では密にコミュニケーションが図られ学習内容にも深まりが見られているが、生徒間での学習活動には課題が残る。
- ・内規に基づいて業務を行う環境の醸成が不十分である。
- ・内規や教育課程の見直しを早期に行えなかった。

### 次年度への取り組み(改善点)

- ・生徒の自立・自律を促し、卒業後にも通じる、真の「生きる力」を育むための授業改善。
- ・適切な年間指導計画に基づき、かつ、魅力ある内容を盛り込んだ総合的な探究の時間の実施。
- ・太田分校の実態に即したコース選択や選択科目が実施可能な教育課程の見直し。
- ・体験入学案内を5月までに送付し、申し込みを中学校を通さずに行えるようにする。
- ・2・3年次のコース選択及び選択科目の選択調査を次年度使用教科書選定までに実施する。
- ・校務支援システムの運用の更なる適正化を図り、利便性を向上させる。

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

生徒指導部

### 今年度の重点目標

1. 教職員の共通理解を図る。
2. 生徒理解を共有する。
3. 安心・安全、落ち着きのある学校生活を目指す。
4. 基本的生活習慣の確立を図る。

### 今年度の主な実施事項

- \*整容指導 \*校外巡視計画 \*アルバイト、旅行届等 \*校門指導 \*集会指導
- \*事故対応 \*朝読書 \*教育相談 \*薬物乱用防止教室 \*面接週間(2回)
- \*デートDV予防講座 \*携帯マナー講座 \*個人写真、住所録 \*自転車点検
- \*自転車ステッカー \*交通安全教室(2回) \*自動車学校入校説明会
- \*高生協、地生研 \*相談箱設置

### 今年度の成果と反省点

#### 【成果】

- ・年間を通して一回の問題行動のみで、大きな問題、トラブル等なく生徒が安全・安心な学校生活を送ることができた。
- ・全職員が生徒と親身になって接することで、いじめなどの訴えもなく一年間生活することができた。

#### 【反省点】

- ・問題行動につながりかねない行為を捉えて適切な指導を行えなかった。
- ・朝読書監督が機能していない。

### 次年度への取り組み(改善点)

- ・整容指導の実施形態の見直し。
- ・朝読書を特に「読書」としなくても読書を含め、朝学習としたらいいのでは。
- ・薬物乱用防止教室は令和元年からライオンズクラブにお願いしている。次年度からは警察や保健所をお願いしたい。

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

進路指導部

### 今年度の重点目標

1. 面談や進路希望調査等をもとに、生徒の希望と適性・特性に応じた進路指導を行う。
2. 3年間の積み重ねを生徒に意識させ、適性についての自己理解を促す。
3. 進路決定に必要な基礎学力とライフスキルの定着を図る。
4. 積極的な進路開拓を行うとともに、卒業生の進学・就職先との関係構築を図る。

### 今年度の主な実施事項

- ①各種進路行事の実施（卒業生講話、就職活動支援セミナー、ふるさと企業紹介、就職準備セミナー、進路活動報告会、就職ガイダンス、コミュニケーションセミナー）
- ②インターンシップ（第2学年）
- ③職場定着支援訪問
- ④履歴書指導・面接指導・作文指導・学力試験対策・応募書類発送業務
- ⑤その他（推薦会議、企業説明会・求人説明会生徒引率、応募前職場見学への対応、求人对応、各種掲示等）

### 今年度の成果と反省点

#### 【成果】

- 就職希望の生徒について2次募集まで挑戦して生徒自身の希望する就職先から内定を得ることができたのはこれまでの各種セミナーやこれまで関わった先生方の成果である。
- 1, 2年生についても各種セミナーや実際の職場を訪問することで生徒に卒業後の具体的なイメージを持たせることに貢献している。

#### 【反省点】

- 今年度の卒業生が全員就職希望だったこともあり、就職に関する情報が多かった。次年度については専門学校などの進学に関する情報提供についても検討していきたい。
- 本校を訪問してくださった企業から離職したケースについての情報提供が複数あった。今後も離職に関して得た情報について共有をしていきたい。

### 次年度への取り組み（改善点）

- 「ハンディ進路指導室」を導入しているが、今後もこのシステムを活用してより良い進路選択ができるようにしていきたい。
- 特別な配慮が必要な生徒について、学年部と連携を取りながら必要な対応を早期に行えるようにしていきたい。
- 現2年生について進学希望者がいることから情報提供等適切に対応に取り組んでいきたい。

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

特別活動部

#### 今年度の重点目標

1. 生徒の主体的実践的な態度の育成を目指す。
2. 学校行事における地域との連携強化を図る。
3. 部活動、生徒会活動の活性化を図る。

#### 今年度の主な実施事項

- 1 総務 (1) 企画・運営
- 2 ホームルーム活動  
(1) LHR年間計画・進度表 (2) 体育館などの調整 (3) LHR日誌
- 3 生徒会 (1) 執行部指導、企画・運営 (2) 会計  
(3) 各委員会の運営指導(委員会集会) (4) 生徒会誌『碧空』
- 4 学校行事 (1) 各分掌との連絡調整 (2) 運動会、球技大会、スキー教室  
(3) 紅葉祭 (4) 全校民謡発表会 (5) グラウンド・ゴルフ大会  
(6) 紙ふうせんづくり (7) 応援指導、壮行式企画・運営  
(8) 芸術鑑賞会(山っこコンサート)
- 5 部活動 (1) 顧問会議 (2) 長期休業中の練習計画取りまとめ  
(3) 部活動所属確認
- 6 その他 (1) 各種ボランティア(社協等外部連携)  
(2) 行事(運動会・球技大会等)の賞状作成  
(3) 記録(写真) (4) 記録(動画)

#### 今年度の成果と反省点

##### 【成果】

- ・生徒会を中心に生徒全員で準備片付けを行い各行事を実施することができた。
- ・競技大会も町の体育館を借りるなど場所やプログラムの工夫により予定道理に実施できた。
- ・生徒たちは、各行事とも活動が終わると「考えて動く」「協力し合って活動する」という多少の社会性や協調性の面の成長が見られた。

##### 【反省点】

- ・例年通りの行事の内容のままでは、準備・企画・実施ができず生徒会の負担が大きすぎる。
- ・全校民謡講座及び発表は生徒の力だけでは実施しきれしていない。人・予算・時間ともに不足している。
- ・生徒会誌「碧空」の作成・発行に関する印刷会社への支払いが高騰していることにより、どのように作成していくか考え直さなければいけない。

#### 次年度への取り組み(改善点)

- ・生徒数に対する学校行事の数が多いため、体育的学校の数と内容の精選をする。
- ・紅葉祭と収穫祭を平日の一日で実施する。
- ・全校民謡講座の形態を変更し、発表会は行わない。
- ・生徒会誌「碧空」の作成・発行の仕方を検討する。

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」を図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

保健部

### 今年度の重点目標

1. 生徒の健康増進と安全にかかわる事項の企画施行と諸検査・諸診断等への積極的な協力体制を確立する。
2. 校内外の環境衛生・環境美化について意識の高揚を促し、清掃・大清掃の徹底や保健委員会による活動の定着化を図る。
3. 関連分掌との連絡を密にして、協力体制を確立する。

### 今年度の主な実施事項

- 1) 保健室の運営
- 2) 健康管理
  - ①各種検診の実施と事後指導（個別指導・治療のお知らせ等配付）
  - ②保健指導（コロナ感染予防対応）
  - ③事故等の予防（個別指導）
  - ④運動部・文化部員の健康管理と指導（日常生活の観察、大会等）
- 3) 環境美化
  - ①清掃指導・用具の管理指導
  - ②ゴミ集積所管理と分別の仕方指導
  - ③環境整備・検査（照度・水質・空調機器）・点検（校舎・校地施設）
  - ④保健委員会の指導（加湿器、CO<sub>2</sub>濃度測定器、手洗い場等の管理）
- 4) 関係機関との連携
  - ①スクールカウンセラーとの連携（保護者対応等）
  - ②学年部との連携と協力体制の強化

### 今年度の成果と反省点

#### 【成果】

- ・講座・事業等については、ほぼ予定どおり実施できた。
- ・健康管理については、生徒全員に健康面・衛生面ともに個別指導を行い、健康診断結果（口内の衛生状況や齲歯の箇所等）や生活習慣について説明・指導することができた。
- ・清掃活動やゴミの分別等、環境美化には生徒・職員が協力して取り組むことができた。
- ・各種感染症予防対策により、感染症陽性者は発生したものの感染拡大は防ぐことができた。
- ・SC事業は、カウンセリングを希望する生徒に対して有効に活用できた。
- ・保健委員はごみの処理やハンドソープの補充など、役割を自覚して活動した。

#### 【反省点】

- ・生徒数の減少により、清掃が行き届かない箇所があった。
- ・ゴミの捨て方や分別のし方で指導が必要な場面が何度かあり、正しい捨て方の指導が足りなかった。
- ・熱中症対策として多目的ホールに冷蔵庫を設置したが、十分活用できなかった。

### 次年度への取り組み（改善点）

- ・感染症予防対策の継続
- ・健康管理の指導（生活習慣の改善、肥満傾向対策として「体を動かすこと」など）
- ・清掃の実施方法等の見直し・工夫（区域、回数、重点）
- ・良好な“環境”の整備

## 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

### ◎令和7年度 重点目標

#### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

農場部

### 今年度の重点目標

1. 生徒に還元できる実験実習を常として、体験的、実践的な教育活動を実践する。
2. 普通科の中の農業教育として、生徒や地域のニーズに合わせた授業を推進し、地域の方々とのふれあいを通じて生き方・あり方を考えさせる。
3. 生徒とともに積極的な地域交流を進め、分校の情報を発信する。

### 今年度の主な実施事項

- ・分校農場の体験的で実践的な教育活動を推進できた。
- ・「グリーンライフクラブ」で農産物販売を通して地域交流活動を実施できた。
- ・学校 HP や農産物販売で全校田植え競技会・全校除草・収穫祭といった学校行事や農場の活動の様子を PR できた。また、全校田植え競技会は TV や新聞、SNS に取り上げられ、特別栽培米の取組や学校の特色を周知できた。
- ・地域の小学校やこども園と連携した草花植栽体験や田植え・稲刈り体験といった農業活動を実施できた。また、体験入学では農業活動体験を実施し、中学校に分校をアピールできた。

### 今年度の成果と反省点

#### 【成果】

- ・年間を通し、実践的な体験学習を推進し、生徒を主体として取り組ませることができた。
- ・地域や教育機関との連携を充実できた。地域連携として外部講師を招いた食品加工体験や大仙市主催の太田黄桜まつり(5月)、太田の夏まつり(8月)、大仙市秋の稔りフェア(10月)へ参加した。教育機関連携として地域の小学校やこども園との農業体験、農業科学館との豆腐づくり体験、秋田県立大学のスマート農業モデル創出事業成果報告会へ参加した。

#### 【反省点】

- ・近年は異常気象の年が続き、今年度においては高温少雨で厳しい天候により各種農産物の生育・収量に支障が出た。
- ・生徒数減少により農場の維持・管理が困難にであった。特に、作物が収穫適期になっても作業が追い付かず、収穫適期を逃してしまうことがあったため、作付けを見直す他、生徒数に合った規模の検討と作目選択が必要であると感じた。

### 次年度への取り組み(改善点)

- ・生徒数の減少により農場運営や作物の栽培管理が困難になってきている。今後、経営規模縮小や作目の選定、農業機材や農薬の導入を考えながら、農場のあり方を検討していく必要がある。
- ・農場施設の老朽化が進行し、ガラスハウスのひび割れ部分やシャッターの修復が急務である。また、農業機械についても特別栽培米を継続するに当たってはエンジン式中耕除草機の導入や育苗においても温室内の環境データをリアルタイムで取得できる温度計・湿度計の設置などスマート農業が普及する現代にあった形で機械化を進めていきたい。
- ・生徒の学習効果を高め、安全性を確保していく上で農場全体の施設の修復、栽培管理作業の機械化、地域・教育機関との連携強化を推進していきたい。

# 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

## ◎令和7年度 重点目標

### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

1年部

## 今年度の重点目標

- 1) 基本的な生活習慣の確立
  - ①遅刻・早退・欠席・欠課をしない。
  - ②大きな声で挨拶や返事ができ、場に応じた態度や行動ができる。
  - ③公共のものを大切にし、勉強道具や私物の管理が適切にできる。
  - ④仲間を大切にし、協力することができる。
- 2) 基礎学力の定着と向上
  - ①落ち着いた授業態度で学習に向かうことができる。
  - ②家庭学習や自習時間で目標を決め取り組むことができる。
  - ③ノートや課題をしっかりと行い、提出物を期限まで出すことができる。
- 3) 自己の将来像の確立
  - ①自己理解を深めることができる。
  - ②1人2つ以上の資格取得を目指す。

## 今年度の主な実施事項

1. 総務
  - ①庶務・渉外・PTA
  - ②修学旅行
  - ③成績処理
2. 進路指導
  - ①進路相談
  - ②進路講演会等
3. 生徒指導
4. 会計

## 今年度の成果と反省点

### 【成果】

- ・病欠などはあったが、基本的に皆が毎日元気に登校していた。
- ・3人仲良く学校生活を送ることができた。
- ・学習や検定対策に取り組むことができた。

### 【反省点】

- ・TPOをわきまえずに大声を出したり、走ったりする姿が見られた。
- ・問題行動があった。
- ・提出期限を守れない場面が多く見られた。

## 次年度への取り組み(改善点)

- ・自立をより促す取り組み。
- ・基礎学力の向上。
- ・落ち着きのある学校生活。

# 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

## ◎令和7年度 重点目標

### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

2年部

## 今年度の重点目標

- 1) 基本的生活習慣の確立
  - ①皆勤を目標に遅刻・早退・欠席・欠課をさせない。
  - ②高校生として身に付けておくべき服装・態度を身に付けさせる。
  - ③公共物を大切に、自分の持ち物を適切に管理できるようにさせる。
  - ④大きな声で挨拶や返事ができ、場に応じた行動が自らできるようにさせる。
  - ⑤手帳を活用して、自己管理・時間管理をし期限を守れるようにさせる。
- 2) 基礎学力の定着と向上
  - ①落ち着いた授業態度で学習に向かうことができる環境を整備する。
  - ②家庭学習や自習時間で自己の目標を決め取り組めるようにする。
  - ③進路に向けた必要な学力を定着させ活用できるようにさせる。
- 3) 社会的な生活習慣の確立
  - ①他者と協同して、行事活動や清掃活動などの学校生活ができるようにさせる。
  - ②感謝する心・思いやる心を育み、互いに認め合う環境を形成させる。
  - ③インターンシップなどの就労体験等をとおして、社会性を向上させる。

## 今年度の主な実施事項

- 1) 基本的な生活習慣の確立
  - ・欠席超過の生徒に対する面談の実施
- 2) 基礎学力の定着と向上・3) 社会的な生活習慣の確立
  - ・ 考査前放課後学習等 ・ インターンシップ ・ 進路ガイダンス等 ・ 修学旅行

## 今年度の成果と反省点

### 【成果】

- ・ 欠席超過の生徒に対して、学期ごとに保護者同席の面談を複数回実施した。面談によって改善が見られた生徒もいた。
- ・ 考査前放課後学習等は、担任を中心として山岡先生の協力も得て、必要とする生徒へのフォローアップができていた。
- ・ インターンシップの実施により、進路について具体的に考え始めるきっかけになっていた。
- ・ 進路ガイダンスでは、進路について考えるきっかけや自己の適性に目を向けるよい機会となっていた。
- ・ 修学旅行では、旅行中は多少のトラブルがあったものの、全員参加の形で無事実施できた。時間を考えて行動することや、周りに意識を向けることなど社会性の伸びが見られた。

### 【反省点】

- ・ 必要に応じて、欠席や欠課が生徒自身についてマイナスになるという意識づけがなかなかできにくく、欠席超過の部分が減らせない。
- ・ 出席する、提出物の期限など基礎基本の生活習慣が今ひとつ徹底できていない。

## 次年度への取り組み(改善点)

- ・ 職場定着就職支援員と連携し、進路希望の明確化と生徒の希望する進路先の達成
- ・ 進路達成に必要な学力や基本的な生活習慣の継続的指導
- ・ 社会人として求められるコミュニケーション能力の育成に努める

# 令和7年度 学校評価(Ⅱ)

大曲農業高等学校太田分校

## ◎令和7年度 重点目標

### 規範意識を持って自ら学び考え、行動し、社会を元気にできる生徒の育成

- 生徒一人一人の「主体的、実践的な活動」を支援する。
- 生徒一人一人に必要な「確かな学力の向上と定着」が図れるよう支援する。
- 生徒一人一人が「希望進路を100%実現」できるよう支援する。
- 生徒一人一人が「学校生活で達成感」を得られるよう支援する。
- 生徒一人一人が「大農太田分校」の主役となれるよう各種活動を支援する。

分掌名

3年部

## 今年度の重点目標

- 1) 成人として、さらに最高学年としての自覚を持たせる。
  - ①成人としての心構えや、トラブルに巻き込まれない考え方を伝える。
  - ②学校行事等で各集団のリーダーとして意識を強く持って活動するよう指導する。
- 2) 課題を主体的に考え、解決しようと挑戦する姿勢を育成する。
  - ①学校行事等の目標を達成するための課題を自ら見出し、話し合いで解決する機会を増やす。
  - ②授業等で話し合いの質をさらに向上させ、問題解決に生かす。
- 3) 自己理解をさらに深め、進路目標を明確にして目標を達成させる。
  - ①自己理解した内容を進路選択に生かすよう指導する。
  - ②自己理解した内容を相手に正確に伝えられるように指導する。

## 今年度の主な実施事項

- 1) 総務
  - ① 庶務・渉外・PTA . . . 細谷・小野・難波
  - ② アルバム . . . 細谷・小野
- 2) 進路指導
  - ① 進路相談・就労体験 . . . 小野・細谷・難波
  - ② 諸テスト . . . 小野・細谷
- 3) 生徒指導 . . . 難波・小野・細谷
- 4) 会計 . . . 難波・細谷

## 今年度の成果と反省点

### 【成果】

- 最高学年として様々な場面で全校生徒の手本として活躍してくれた。
- 自主性を重んじた指導によって、昨年度より確実に各自が自分で考え行動することができるようになってきている。
- 応募前職場見学を活用するなど、積極的に生徒自身が進路活動に取り組むことによって就職希望者のほとんどが一次募集で希望進路に内定をもらうことができた。

### 【反省点】

- 人数が少ないことから学校行事等において生徒一人一人に対する負担が大きいものがあったのではないかとと思われる。
- 就職試験対策においてディスカッション形式の練習など多人数が関係する試験の対策が困難であった。

## 次年度への取り組み(改善点)

- 「ハンディ進路指導室」のさらなる有効活用。
- 自己理解や自己分析、進路に関する適性など進路活動に活用できる時間の拡張と、家庭学習の充実。
- 進路対策学習のさらなる充実。